

## 7.9.2 予測及び評価

### 1. 予測及び評価方法

#### (1) 工事の実施

##### 1) 予測事項

土壤汚染に係る影響要因と予測事項を表 7.9.2-1 に示す。

表 7.9.2-1 土壤汚染に係る影響要因と予測事項

| 予測の対象となる要因      | 予測項目                        |
|-----------------|-----------------------------|
| 造成等の施工による一時的な影響 | 土壤汚染の変化(ダイオキシン類、土壤汚染環境基準項目) |

##### 2) 予測地域

工事に実施おける土壤汚染の予測地域は、図 7.9.1-1(2)に示す事業実施区域とした。

##### 3) 予測時期

予測時期は工事計画を踏まえ、造成等の施工による一時的な影響が最大となる時期とした。

##### 4) 予測方法

予測方法を表 7.9.2-2 に示す。

表 7.9.2-2 予測方法

| 予測項目    | 影響要因            | 予測方法   |
|---------|-----------------|--|
| 土壤汚染の変化 | 造成等の影響による一時的な影響 | 土壤汚染の状況、工事計画を整理し造成中の掘削・盛土等の土工による影響を定性的に予測する。 |

##### 5) 評価方法

###### ① 環境影響の回避・低減に係る評価

環境影響が、事業者により実行可能な範囲内で、できる限り回避・低減されているか否かについて評価した。

###### ② 国・県又は関係する市町村が実施する環境の保全に関する施策との整合性に係る評価

環境影響の予測結果を踏まえて、環境保全に関する基準等との整合が図られているかどうかについて評価した。

## (2) 施設等の存在及び供用

### 1) 予測事項

土壤汚染に係る影響要素と予測事項を表 7.9.2-3 に示す。

表 7.9.2-3 土壤汚染に係る影響要因と予測事項

| 影響要素    | 予測項目             |
|---------|------------------|
| 焼却施設の稼働 | 土壤汚染の変化(ダイオキシン類) |

### 2) 予測地域

予測地域は、施設の存在及び供用による影響を受けるおそれがあると考えられる事業実施区域及び周辺とし、大気質予測範囲と同じ範囲とした。

予測地域位置図を前掲の図 7.9.1-1(2)に示す。

### 3) 予測時期

予測対象時期は、焼却施設の稼働による影響が最大となる時期とした。

### 4) 予測方法

#### ① 予測方法

予測方法を表 7.9.2-4 に示す。

表 7.9.2-4 予測方法

| 予測項目    | 影響要因    | 予測方法                                  |
|---------|---------|---------------------------------------|
| 土壤汚染の変化 | 焼却移設の稼働 | 「7.1 大気質」の予測結果に基づき、土壤汚染への影響を定性的に予測する。 |

## ② 予測条件

ダイオキシン類の予測条件は、「7.1 大気質」より表 7.9.2-5 に示すとおりである。

表 7.9.2-5 予測方法

| 項目                        | 予測条件  |
|---------------------------|---|
| ① ばい煙中の濃度(煙突出口)           | 0.1 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> )  |
| ② 大気中の年平均寄与濃度の予測結果        | 事業実施区域 : 0.0000052 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )<br>若狭小学校付近 : 0.0000333 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> ) |
| ③ 大気質の現況                  | 事業実施区域 : 0.0083 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )<br>若狭小学校付近 : 0.0077 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )       |
| ④ 大気質中濃度への寄与率<br>(②/③の割合) | 事業実施区域 : 0.06 (%)<br>若狭小学校付近 : 0.43 (%)   |
| ⑤ 土壌中濃度の現況                | 浦添市、那覇市の監視地点<br>最大値 : 4.3 (pg-TEQ/g)<br>平均値 : 0.9 (pg-TEQ/g)                                |

※①は「7.1.2 大気質 予測及び評価 表 7.1.2-22 焼却施設の排出ガス等諸元」より引用した。  
②、③は「7.1.2 大気質 予測及び評価表 7.1.2-53(6) ダイオキシン類の予測結果」より引用した。  
⑤は、「7.9.1 土壌汚染 調査 表 7.9.1-4(2) 分析結果」より引用した。

## 5) 評価方法

### ① 環境影響の回避・低減に係る評価

環境影響が、事業者により実行可能な範囲内で、できる限り回避・低減されているか否かについて評価した。

### ② 国・県又は関係する市町村が実施する環境の保全に関する施策との整合性に係る評価

環境影響の予測結果を踏まえて、環境保全に関する基準等との整合が図られているかどうかについて評価した。

## 2. 予測及び評価結果

### (1) 工事の実施

#### 1) 予測結果

事業実施区域内の土壌は、すべての項目において環境基準を満足していることから汚染土壌が存在しないため、造成工事等に伴う土砂の移動による土壌汚染の環境影響はないものと予測される。

#### 2) 環境保全措置

工事の実施により土壌汚染の変化に対して影響はないものと予測されるが、建築工事で発生する掘削発生土は原則として事業実施区域内で有効利用を図る計画とし、土砂の移動を最低限とする。

#### 3) 評価結果

##### ① 環境影響の回避・低減に係る評価

事業実施区域内の土壌は、土壌の汚染に係る環境基準及びダイオキシン類の環境基準を満足しており土壌汚染に対して影響はほとんどないと予測されたことから、事業者が実行可能な範囲内において、回避・低減されていると評価する。

##### ② 国・県又は関係する市町村が実施する環境の保全に関する施策との整合性に係る評価

事業実施区域内には汚染土壌は存在せず、建築工事で発生する掘削発生土は場内処理とし環境保全措置を実施することから、環境保全に関する目標とのその整合性は図られていると評価する。

## (2) 施設等の存在及び供用

### 1) 予測結果

焼却施設の稼働に伴うダイオキシン類の寄与濃度予測結果は、若狭小学校付近で  $0.0000333\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$  と予測された。この値は、現況のダイオキシン類に対し、0.43%の寄与率であり、大気中のダイオキシン類濃度はほとんど変化しないことから、大気中から土壌へのダイオキシン類の沈着はほとんどないものと考えられること、浦添市、那覇市における現況の土壌中のダイオキシン類濃度は、環境基準の数百分の1以下と低いレベルにあることから、焼却施設の稼働に伴うばい煙の排出によるダイオキシン類の周辺土壌への影響はほとんどないものと予測される。

### 2) 環境保全措置

焼却施設の稼働に伴うばい煙の排出による土壌汚染の影響については、「7.1.2 大気質 予測及び評価 P7.1.2-95」に示す焼却施設の稼働に係る環境保全措置を適切に実施する。

### 3) 評価結果

#### ① 環境影響の回避・低減に係る評価

大気中のダイオキシン類濃度の寄与率が0.43%と低く焼却施設の稼働に伴う土壌環境への影響はほとんどないものと予測されたことから、事業者が実行可能な範囲内において、回避・低減されていると評価する。

#### ② 国・県又は関係する市町村が実施する環境の保全に関する施策との整合性に係る評価

浦添市、那覇市における現況の土壌中のダイオキシン類濃度は、環境基準の数百分の1以下と低いレベルであり、焼却施設の稼働に伴うばい煙の排出によるダイオキシン類の周辺土壌への影響はほとんどないものと予測されたこと、さらに焼却施設の稼働に係る環境保全措置を実施することから、環境保全に関する目標とのその整合性は図られていると評価する。